

4月戦略本部会議で出たアイデアの整理

令和8年6月4日
行財政経営戦略本部会議 資料

アイデア	取組の方向性
大前提として、行動計画に位置付いている取組を着実に実行していくこと	・課題等を随時、戦略本部会議で共有・議論しながら、各部局において主体的に取組を進めていく。 → 参考にR8・R9年度完了予定になっている取組を抽出し共有
時間外削減の目標設定しての業務改善	事務事業評価で「業務プロセス変革のうちRPAやノーコードツール等の活用により創出された時間」を成果指標に設定しており、引き続き取り組む（R4～R6目標達成）
小さい改善事例を積み重ねて意識醸成（業務改善アワードの頻度増やす等）	業務改善アワードの他、SHIFT(業務改革WG)を中心に、業務に役立つ知識や過去の業務改善事例を分析し、庁内広報やアーカイブ等で市役所庁内に向けて共有していく
行政計画の簡素化・生成AI活用（委託→内製への切替を検討）	生成AI（6月導入）のRAG機能の検証からスタート。計画策定フローを検討→個別計画で実証実験
審議会の最適化に向けた検討	・各部局で審議会の必要性、役割、構成人数等を再整理し、必要に応じて縮小や統廃合を検討する ・「審議会等の運営に関する指針」についても、時代に即した内容になっているかどうか、再点検する
（所得制限世帯合算の照会等について）今後の課題の整理・検討のため、情報は定期的に集約し、進捗管理する	令和8年度1年かけて、各種照会→とりまとめ→戦略本部会議での共有を行う
専門職の人的資源の確保などへの課題対応	10本の柱「組織経営改革」の中で取り組む（技術職（建築職）の次長級ワークショップを実施済）
退職者（転職）に対する再雇用制度（アルムナイ制度）の検討	10本の柱「組織経営改革」の中で取り組む
歳入確保の戦略（税収、ふるさと納税、協賛金、資産運用など）	歳入確保の切り口は各部局によって様々（分野、保有資源等） → 6月から始まる「施策評価にかかる市長・副市長と各部局との「対話」」において、対話テーマに「新たな歳入確保のアイデアに関する内容」を位置づけ意見交換を実施し「稼ぐ」機運の醸成を図る
外郭団体の経営健全化については平成17年の「宝塚市外郭団体の経営等について」の答申も踏まえて取り組む必要がある	答申を踏まえながら、随時、検討を進める
ウォーターPPPをエリア内の他のインフラを包括的に展開していく取組	・ウォーターPPPを皮切りに、今後、他のインフラへの横展開も視野に入れながら、主に2部（上下水道局と都市安全部）において、連携も含めた検討を行う。 → 本件に限らず、他部局に展開できそうな案件など、戦略本部会議の場を活用して積極的に情報共有を図っていただく
契約行為のあり方	工事入札不調の抑制に向け、発注方法の工夫などについて、引き続き検討を進める。

前提として

行財政経営行動計画の着実な実行

10本柱を始めとする各種取組について、課題等を必要に応じて戦略本部会議で議論しながら、各部局において主体的に取組を進めていく。

●公共施設の再編（公共施設マネジメント推進会議との連携）

●外郭団体の経営健全化等の検討

本アイデア（4月提案）も
行動計画に基づき実行

業務改革の徹底

業務効率化のさらなる推進・意識醸成 ～新しい時代の業務フローを見据えた検討～

生成AIの効果的な活用

・・・分野別計画策定のAI活用、簡素化についても実証実験

経営改革推進担当・
業務改革推進担当・
SHIFTによる伴走支援

業務相談会・ちょこサポの積極活用
ビジネススキルアップゼミによる変革人材の育成

本部員（幹部職）から
各職員へ活用・参加の後押しをする

聖域なき不断の見直しを継続していくため

既存制度の点検・見直し

●審議会・補助金などの既存制度の点検・見直しの検討（基準や指針を含めて検討する）

●所得制限を設けている手当・助成金・給付金等における「所得の世帯合算」の検討

●普通財産使用料や施設使用料等にかかる統一的な減免基準の検討

●市が担っているイベント等の実行委員会・事務局に関する整理の検討（＝人的リソースの転換）

R8年度に順次

現状把握（照会）

↓

とりまとめ

↓

戦略本部会議共有

各取組のスケジュール

令和8年6月4日
行財政経営戦略本部会議 資料

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
行動計画		10本柱 位置付け	●市長・副市長と各部局との対話		●行動計画改定 (10本の柱位置付け)							
	●外郭団体の経営健全化等の検討											
	●公共施設の再編（公共施設マネジメント推進会議との連携。随時、戦略本部会議で情報共有・意見交換）											
	●各取組の実行（課題等を必要に応じて戦略本部会議で共有・議論しながら、各部局が主体的に取り組む）											
業務改革	●業務相談会/ちょこサポの活用、ビジネススキルアップゼミの実施											
	●分野別計画のAI活用・簡素化検討 (生成AI RAG機能検証 → 分野別計画フローへの落とし込み検討（実証実験できる計画の情報収集）)											
既存制度	●審議会・補助金などの既存制度の点検・見直しの検討（基準や指針を含めて検討する）											
					所得制限照会	とりまとめ		戦略本部会議				
								減免照会	とりまとめ		戦略本部会議	
										イベント等事務局照会	とりまとめ	戦略本部会議
※ 6月・7月に以下の定例照会を実施 ※ ・補助金効果調、行動計画（R7年度実績＆R8改定（10本柱））、受益者負担（手数料・使用料の原価）												